

2 法人の経営内容の詳細

(1) 目的適合性(公益性)

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 設 立 目 的	1	法人は、設立目的に沿った活動を行っている。	<input type="radio"/>	
	2	全ての事業内容が、設立目的または趣旨にしたがって展開されている。	<input type="radio"/>	
	3	現在の社会経済情勢の下でも、法人の設立目的や事業には公益性が認められる。	<input type="radio"/>	
	4	法人を取り巻く社会経済状況は、設立当初から大きな変化はない。		<input type="radio"/>
2 代替性	5	民間等(株式会社の場合、他の事業者等)において、代替が可能な類似の事業が行われていない。		<input type="radio"/>
	6	現在の事業量は、最大時の事業量と比べて著しく減少していない。		<input type="radio"/>
	7	法人が事業を廃止すると、事業の実施する事業者がまったくなくなり、市民が不利益を被る。		<input type="radio"/>
3 市の施策推進における役割	8	法人の活動は、関連する市の政策、施策に結びついている。	<input type="radio"/>	
	9	盛岡市総合計画やその他の部門別計画において、法人の役割が規定されている。	<input type="radio"/>	
	10	盛岡市総合計画やその他の部門別計画において、法人が実施する事業の施策上の役割、方向が規定されている。	<input type="radio"/>	

・評価コメント

目的適合性(公益性)について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての評価及び関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状と課題] 都市と農村の交流を目的として設立されたが、リーマンショック以降社会経済が低迷し、施設利用者の減少に伴い経営環境が大きく変化している。
	[方 策] 都市農村交流事業の推進と近郊にあるスポーツ施設を活用した合宿等の誘致、併せて地元食材活用によるメニュー作りに努め、特色ある施設の運営に努めていく。
法 人 所 管 課	[評価及び関与のあり方] グリーンツーリズム及び地元産食材の活用など交流施設の活性化に一層取り組む必要がある。公の施設の指定管理者として、ユートランド姫神の経営を受託しているたまやま振興(株)の経営状況について指導・助言している。 ユートランド姫神の特色作りとして、施設周辺農家と協力協議し、グリーンツーリズムへの取り組みや地元食材をいかしたメニュー開発及び宣伝の推進を指導する。

(2) 計画性

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 経営基本方針	1	経営基本方針を策定している。	○	
	2	経営基本方針の内容は、簡潔明瞭である。	○	
	3	経営基本方針には、法人の存在理由が規定されている。	○	
	4	経営基本方針について、経営陣が全ての役職員に周知している。	○	
	5	経営基本方針は、全ての役職員に浸透している。	○	
	6	全ての役職員が、経営基本方針に従った行動をとっている。	○	
2 中長期経営計画	7	具体的な指標に基づく中長期経営計画を策定している。		○
	8	中長期経営計画と実績についての分析は、半期以内のサイクルで行っている。		○
	9	中長期経営計画と実績についての分析結果を経営陣に報告し、分析結果に基づき業務改善を議論する仕組みがある。		○
	10	中長期経営計画と実績についての分析結果を中長期計画の見直しに反映させている。		○
	11	中長期経営計画と実績についての分析結果に基づき、計画を達成するための具体的な業務の改善策を実施している。		○
3 年次事業計画	12	年次ごとの事業計画を策定している。	○	
	13	年次事業計画と実績について分析し、分析結果を次年度以降の事業計画や中長期経営計画に適切に反映させる仕組みとなっている。	○	
	14	年次事業計画と実績についての分析は、半期以内のサイクルで行っている。	○	
	15	年次事業計画と実績についての分析結果を経営陣に報告し、議論する仕組みがある。	○	
	16	年次事業計画と実績についての分析結果に基づき、具体的な業務の改善策を実施している。	○	
4 経営環境の把握	17	法人の経営資源の長所、短所を把握し、法人の活動に反映させている。		○
	18	外部経営環境(事業に関わる社会経済の動向・法令等の動きなど)を把握している。		○

・評価コメント

計画性について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状と課題] 新たに中長期経営計画の策定が必要な状況にある。特に宿泊部門の位置づけについて見直しが必要な状況となっている。
	[方策] 業務の効率化を図る為、社員の適性配置を行い、経費削減による経営改善に努めていくほか、中長期計画の策定に取り組む。
法人所管課	[評価及び関与のあり方] 新たに中長期計画を策定し、計画に沿って進める努力が必要であり、施設の効果的な維持管理を図る上でも、数値目標の設定を行い実効性のある計画となるよう協議を行い、策定に取り組む。人件費等一般管理費の削減については限度があり、売り上げ増に結びつける方策について具体的に協議する必要がある。 職員の業務内容や職員配置状況を調査し、業務効率の向上を図り、経営改善に努めるよう指導する。人材育成については、民間での経営のノウハウも学び、有効と考えられるものはユートランド姫神の経営に反映させるよう指導する。

(3) 経営管理の仕組み

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 組織管理	1	組織構造は経営環境の変化に応じて定期的に見直しされている。		○
	2	組織を機能ごと、または事業ごとに分け、役割を明確にしている。	○	
	3	部門ごとの連携が円滑に行われる組織体制になっている。		○
	4	異なる業務間の配置転換、権限委譲等により組織の活性化を図っている。		○
2 コスト管理	5	事業別、業務別など、個別の事業内容に関するコスト分析を実施している。	○	
	6	コスト分析の結果が、経営計画や事業内容へ反映される仕組みとなっている。		○
3 顧客満足度	7	定期的に顧客満足度調査を実施している。	○	
	8	顧客満足度調査の結果を分析し、分析結果を経営に適切に反映させる仕組みとなっている。		○
	9	顧客満足度調査の結果を分析し、顧客のニーズを把握している。		○
	10	顧客のニーズを分析し、その結果を踏まえて改善努力をしている。	○	
	11	中長期経営計画や年次事業計画に顧客のニーズを反映させている。	○	
4 職員の 人材育成・ 能力開発	12	業務に必要な知識を身につけるための職員研修や派遣を実施している。		○
	13	研修等により、実際に職員の能力・技術が向上している。		○
	14	職員が法人の活動に関わりのある資格を取得している。	○	
	15	職員が研修で得たノウハウを、他の職員も共有している。		○
	16	必要に応じ、専門知識を有する外部の人材を活用(職員として採用、指導や助言を受ける、など)している。	○	
	17	人材育成や能力開発を中長期経営計画等に盛り込んでいる。	○	
	18	経営陣は、人材育成や能力開発に積極的に関与し、かつ自らも学習し取り組んでいる。		○
5 業務 執行 体制	19	決裁などの日常業務の意思決定や事務分掌、現金管理等、業務上の必要な規定が適切に整備されている。	○	
	20	理事会、取締役会をはじめとした業務執行体制が関係法令等に基づき適切に整備され、実質的に機能を果たしている。	○	
	21	経営上重要な意思決定は、理事会(取締役会、株主総会)の決議により行っており、必要に応じて迅速に開催できる体制が整っている。	○	
	22	監査の指摘事項に対して、改善策を実施している。	○	
	23	財務状況は、年度途中で定期的(必要があれば随時)に経営陣に報告する仕組みがある。	○	
6 情報 公開	24	法人の財務状況や事業成果を積極的に外部に公表している。	○	

・評価コメント

経営管理の仕組みについてについて総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	<p>[現状と課題]</p> <p>定期的な経営会議により、当社の経営状況の分析や今後の取組み・課題が議論されている。経営会議の決定に基づき、営業会議を行い、実行に向けて取り組んでいる。</p> <p>コスト管理による経費削減に努めているが、経年劣化による機械設備等の修繕により、一般管理費の予算計画を大きく上回る状況にある。</p>
------	---

	<p>[方 策]</p> <p>コスト分析の結果を経営計画に適切に反映できるよう検討を進めていくほか、職員の研修を充実させ適材適所な人材の配置、育成を行っていく。</p>
法人所管課	<p>[評価及び関与のあり方]</p> <p>取締役会議を四半期ごとに開催し、経営計画点検と検証を行い経営管理に努めている。定期的な職員間の会議開催を行い、取締役会議の指導事項を職員で共有するとともに、現状の問題や課題解決に向けた相互の意見交換を行い、社員としての意識向上及び問題課題の共有を図るよう指導・助言する。</p>

(4) 財務状況

項目番号	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 財務状況	1	債務超過になっていない。	<input type="radio"/>	
	2	自己資本が十分に確保されている。		<input type="radio"/>
	3	借入金に依存しない資金運用を行っている。	<input type="radio"/>	
	4	市からの補助金の交付はない。または市に対する収入依存度は改善の傾向にある。	<input type="radio"/>	
		平成25年度決算において単年度黒字である。		<input type="radio"/>
		平成26年度決算において単年度黒字である。		<input type="radio"/>
		平成26年度決算において減価償却前黒字である。		<input type="radio"/>
	5	累積欠損金がない。		<input type="radio"/>
	6	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。 ※この設問は、前の問で「いいえ」と答えた場合のみ回答してください。		<input type="radio"/>
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。 ※この設問は、前の問で「いいえ」と答えた場合のみ回答してください。	<input type="radio"/>		

・評価コメント

財務状況についてについて総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	<p>[現状と課題]</p> <p>平成25年度及び26年度は、施設の休館を余儀なくされた為、売上を大きく落とす要因となった。</p>
	<p>[方 策]</p> <p>効果的な人員配置による運営に努め、売上確保策として広報及び営業部門の強化を図る。又、計画的な修繕等を行い安定した経営に努める。</p>
法人所管課	<p>[評価及び関与のあり方]</p> <p>ここ数年赤字決算が続いており、今後一層の経営改善、経費削減が必要であるが、経費削減には限度があり、また、法人の修繕費の支出が嵩んでいる実態もあることから、今後の経営改善とより良い人事配置の指導を行うとともに、施設の設置者の役割として施設老朽化に伴う修繕修理について、市として対応しなければならないものには早急に市担当課と協議を行う。</p>

(5) 活動成果

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 成果指標	1	各業務について、成果指標が数値で具体的に設定されている。		○
	2	法人の設立目的と連動した指標となっている。		○
	3	事業ごとに数値目標を設定している。	○	
	4	指標や目標は、類似の事業を行う他の団体(他の地方自治体の出資等法人など類似団体、民間企業、非営利団体等)の動向を踏まえて設定したものである。	○	
2 活動成果の評価と公表	5	主要な成果指標について良好な水準を保っている、または改善の傾向にある。		○
	6	成果指標の達成度について定期的に検証が行われている。	○	
	7	法人の活動成果について、外部委員等による定期的な点検・評価が行われている。	○	
	8	活動成果をホームページ等の媒体を使って住民に公開している。		○

・評価コメント

活動成果について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状と課題] 現状の売上として宿泊事業の日帰り部門は横ばい、宿泊部門が料金の見直し等により売上増となっている。今後は、更にスポーツ合宿や団体利用者への営業に努める。
	[方策] 人材確保により営業部門の強化を図り、施設の情報発信や営業努力による新たな顧客確保に努めて経営改善を図っていく。
法人所管課	[評価及び関与のあり方] 経営状況がここ数年厳しい状況下で経営努力していることは認めるが、一層の経費節減及び収入増加のための努力が必要である。宿泊部門が売上増となるなど部門によっては改善が見られることから、部門ごとの活動の見直しを徹底し、一層の指定管理者の営業努力を促す。

(6) 経営内容に関するその他の特記事項

出資法人
<p>利用料金制による運営に努めてきたが、施設の経年劣化に伴う修繕等の経費増加及び施設の老朽化に伴う客離れなど非常に厳しい状況にある。社員一丸となり、リピート客の確保に努めているが、人員不足によりサービスに手が回らない状況にある。今後、人員補充による各部門の強化を図っていく。</p>

3 市による総合評価

たまやま振興（株）の経営については、手元資金を取り崩して補填している財務状況となっており、経営の抜本的改革が必要である。

経営悪化の要因を速やかに分析するとともに、利用者のニーズを的確に捉えたサービスを提供することにより、自立的で安定的な経営がなされるよう、早急に対策を講ずる必要がある。

併せて、効率的な組織管理及びコスト管理など、抜本的改革を下支えする経営管理の仕組みについても再構築する必要がある。

法人が指定管理者となっているユートランド姫神の管理運営においては、これまでリスク分担に係る費用を除き完全利用料金制により行われており、市からの委託料（指定管理料）は支払われていない状況である。

従って、市としては、法人の経営安定に資するため、ユートランド姫神の運営経費分については利用料金で賄うことを原則とするが、施設の維持等に係る費用について、指定管理料の導入の必要性を含め、今後も引き続き検討していくこととする。併せて、法人による持続的な経営がなされるよう必要な指導等を行っていく。

以上の抜本的改革を実施するにあたり、市は、法人に対し、今後予定しているクアハウスの使用料の改定や、施設の大規模リニューアルも視野に入れた取組のベースとなる中長期経営計画を平成28年度早期に策定し、速やかに改革に着手することを求めるものである。

なお、ユートランド姫神については、「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」の方針において、今後10年間で民間譲渡の検討を行うこととしており、施設を長期的・継続的に維持管理し経営を安定させていく必要があることから、平成28年度においては、設置者である市が小破修繕も含め、施設の修繕を実施するものである。